

自ら学び、確かな学力を身につけた子をめざして 家庭学習の手引き

丹波市立上久下小学校

上久下小学校では、子どもたちの学力向上に向けて取り組んでいます。その取り組みの一つとして、家庭学習についても、保護者の方々と連携をとりながら進めていきたいと考えています。小学校の間に「机に向かう習慣」を確立し、学びを楽しみながら、確かな学力を身につけ、子どもたちが将来にわたり自ら学んでいける力をつけられるよう、ご家庭でもご理解をいただき、ご協力をよろしく願います。

家庭学習のねらい

- ①家庭学習習慣の定着
- ②基礎・基本的な学習の定着
- ③自ら学ぶ姿勢や態度の育成

家庭学習の時間のめやす 10分×学年+10分

各学年ごとのめあて

- ☆低学年（1・2年生）
 - ・家庭学習の習慣を身につける。
 - ・毎日、宿題をやりとげる。
- ☆中学年（3・4年生）
 - ・自ら学習に向かう。
 - ・宿題以外の学習（自主学習）にも取り組む。
- ☆高学年（5・6年生）
 - ・自分に必要な学習を考えたり、関心のある学習を進めたりする。
 - ・宿題、自主学習を通して自ら学習していける力をつける。

家庭学習7つのポイント

- ① 決まった時間に、決まった場所でしましょう。
- ② テレビやゲームは消しましょう。
- ③ 勉強する所の整理せいとんをしましょう。
- ④ 正しい姿勢ですわりましょう。
- ⑤ ていねいに文字を書きましょう。
- ⑥ まちがいがいないか、見直しましょう。
- ⑦ できたら家の人にみてもらいましょう。

手は出さず
目は離さず

家庭学習を定着させるために・・・

1 習慣をつくりましょう

早起き おひさま 朝ごはん！

○基本的な生活習慣を整えましょう

子どもの心と身体の発達には、3度の食事、十分な休養・睡眠といった規則正しい生活習慣が大切です。生活リズムを規則的にすることで子どもたちは自ら時間を創り出せるようになります。小学生には、生活リズムを自己管理する能力は十分に育っていません。大人の生活リズムに合わせるのではなく、子どもにふさわしい生活をさせましょう。

○家庭学習は毎日させましょう

短時間でも毎日『机に向かう時間』を確保しましょう。「何時から何時までは学習する」とご家庭でよく話し合っ、無理のない時間設定をしましょう。はじめはその通りできなくても、目標を持ってねばり強く取り組ませることが大切です。

○本を読む習慣をつけさせましょう

読書は、子どもに学びの集中力と創造力を育てるために大変効果的です。本の世界に浸り、文字から映像的な世界を構築し、感動したり、自分の意見と比較したりすることは、読解力を飛躍的に向上させます。読み聞かせをしたり、親子で読書を楽しむ日を作ったりするのもいいですね。

2 心をつくりましょう

ほめるときのポイント

- *わかるように
- *具体的な行動を
- *結果ではなく、プロセス、努力を

○がんばりを認め、笑顔でほめましょう

「自分から家庭学習をするようになった」、「文字が丁寧になった」など小さな変化を見逃さず、しっかりと声かけ（ほめる・励ます・アドバイス）をしましょう。その言葉で自信がつき、進んで学習しようという意欲が高まります。

○子どもと学校や勉強のことを話しましょう

学校での出来事を聞き、子どもの理解に努めましょう。子どもたちは、学校での状況を保護者に聞いてもらうことで安心して学校生活を送ることができます。

配布物、ノート、プリントなどにできるだけ目を通し、子どもと一緒に内容を確認してください。

3 環境をつくりましょう

○家庭学習は集中してさせましょう

学習量とは、学習時間×学習の質（集中力）と言われていています。集中して取り組むためには、机の上を片付け、テレビや音楽を消し、学習しやすい環境にしましょう。

○テレビ、ゲームの使用についてルールを作りましょう

テレビを見たりゲームをしたりすること自体が問題なのではなく、時間のコントロールができず、睡眠や学習の時間が確保できないことが問題です。テレビを見る時間、ゲームをする時間について、家庭で話し合っルールを作り、親も子も守るようにしましょう。